

## ＜ I I 学習指導要領改訂の経緯について ＞

＜改訂の経緯＞

Q1 学習指導要領改訂のポイントはどのようなものでしょうか。



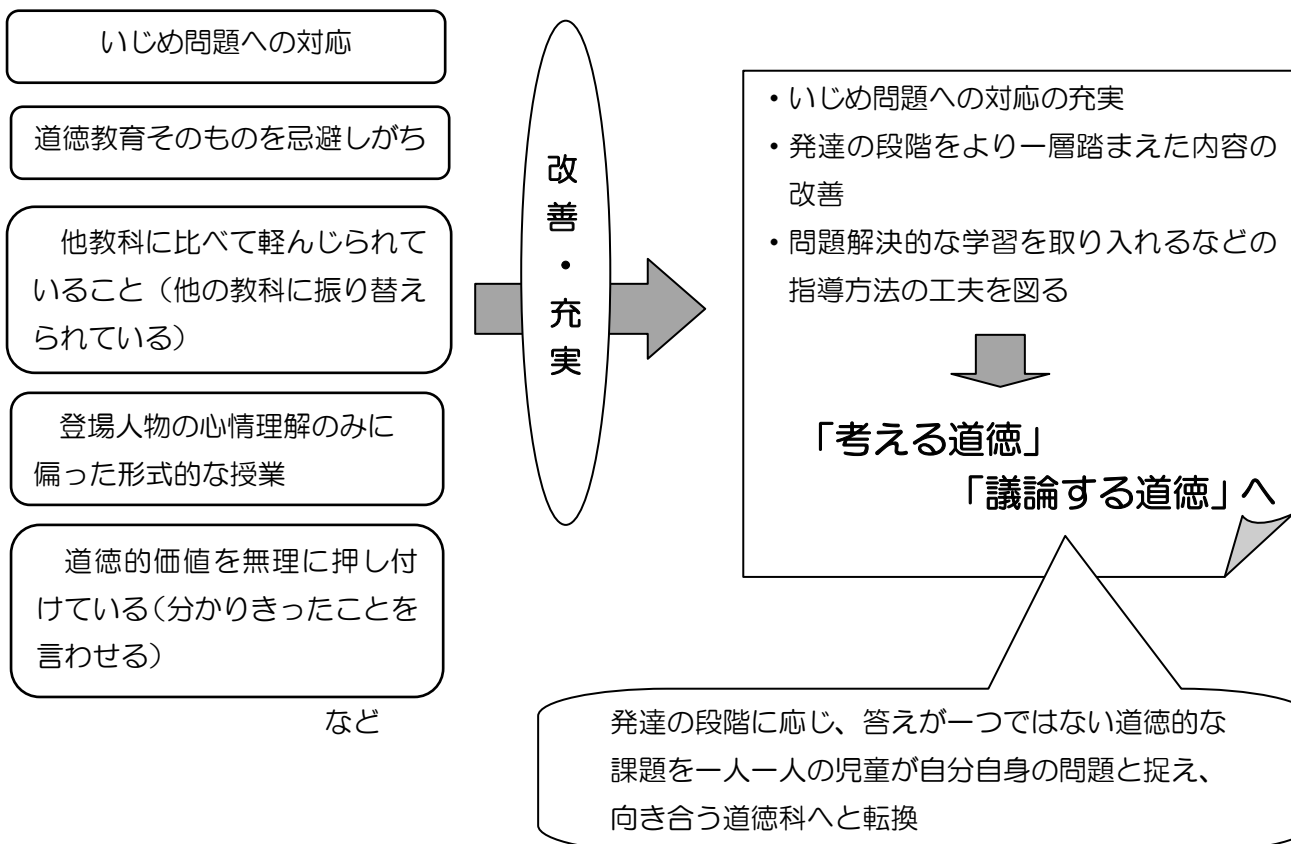
今回の改訂で「特別の教科 道徳」（道徳科）になりました。改訂の経緯や基本方針は以下の通りです。

### 【①改訂の経緯】



これまでも、道徳教育は児童の人格形成の根幹にかかわるものとして、また、生きる力を育むために重要なものとして位置づけられてきました。さらに、今後グローバル化が進展する中で、社会を構成する主体である一人として、高い倫理観をもち、人としての生き方や社会の在り方について、多様な価値観の存在を認識しつつ、他者と協働しながらよりよい方向を目指す資質・能力の育成が重要になります。道徳教育の果たす役割は大きいのです。

しかし…  多くの課題が指摘されています。

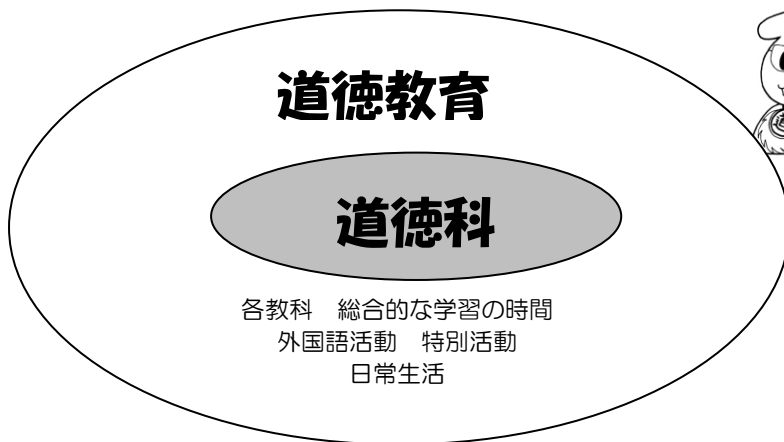


## 【②改訂の基本方針】



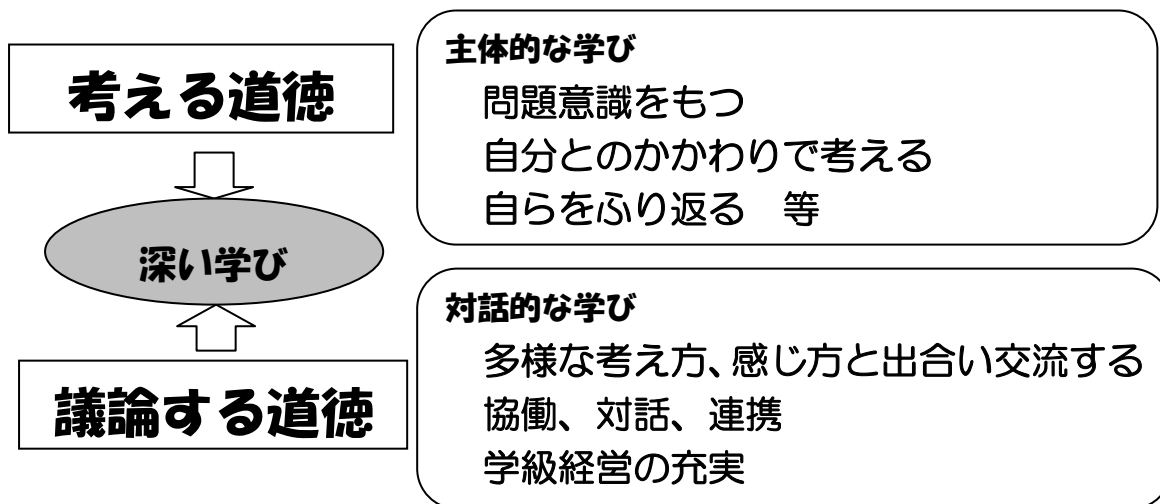
学校における道德教育は、道德科を要として、学校のあらゆる教育活動を通じて行われることは引き継がれています。より一層の充実を図るために、道德教育と、道德科の役割を明確にした上で、目標（Q2参照）、内容（Q3参照）、教材、評価（Q23参照）、指導体制の在り方（Q13参照）を見直しました。

<道德科を要として、学校のあらゆる教育活動を通じて行われるイメージ>



道德教育の要となるのは、道德科の授業です。だからこそ計画的に行わなければなりません。そのために、「全体計画」「別業」「年間指導計画」の必要性（Q4参照）が出てきます。

## 【③学習指導要領の「新しい時代に必要となる資質・能力」と道德科の関係】



『主体的・対話的で深い学び』を実現させるために、「考える道德」「議論する道德」を意識した授業づくりが大切です。Q6以降のページを参照しながら、授業実践をしていただきたいと思います。